

令和3年度川崎市優良建築設計者を表彰しました

川崎市では、市内の建築物を設計した市内の設計者の中で、本市のまちづくりの推進に資する取組を行った方々の功績をたたえ、平成28年度から表彰を行っています。

3月17日（木）に4名の設計者に対し、令和3年度の功績をたたえ、川崎市優良建築設計者として表彰を行いました。

1 被表彰者

設 計 者 名	被表彰の対象となった設計業務
株式会社 多摩設計 代表取締役 いわた そう 岩田 崇 様	宮前区にある保育所で、敷地の傾斜を活用し周辺の自然に馴染む形状で、保育室等には構造材の木材が多く配置され、木材化を推進した建物の設計及び監理
株式会社 ポロスデザインシステム 代表取締役 しらい いさむ 白井 勇 様	麻生区にある一戸建ての住宅で、内装材に木材や珪藻土を用いて人に優しい材料を採用した建物の設計及び監理
有限会社 金子建設 一級建築士事務所 かねこ せいじ 金子 成司 様	川崎区にある倉庫・車庫併用共同住宅で、道路側の1階部分をセットバックすることで、歩行者空間への配慮や圧迫感の低減をした建物の設計及び監理
株式会社 大山組 一級建築士事務所 なまい けんいち 生井 賢一 様	中原区にある共同住宅で、外観には周辺との調和を意識した色彩を用いつつ外装表現の工夫を凝らすことで変化を持たせるなど意匠上工夫した建物の設計及び監理



2 表彰理由 別紙のとおり

問合せ先：川崎市まちづくり局総務部庶務課 大場、倉見
電話 044-200-2943

株式会社 多摩設計

本設計事務所は、昭和41年に設立され、川崎市川崎区貝塚に所在しており、主に建築物の設計・監理業務を実施している。

今回表彰された作品は、宮前区土橋にある保育所であり、敷地の傾斜を活用した事により、周辺への圧迫感が低減された自然に馴染む形状になり、内部空間においても園児が楽しさを感じられる、変化のある空間で木に触れる機会を創設した。また、屋上園庭や保育室内には構造材の木材が多く配置され、フローリング等には国産材を用いるなど、木材化の推進に貢献し川崎市の施策である「安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進」に向けた取組として評価できる。



株式会社 ポロスデザインシステム

本設計事務所は、平成4年に設立され、川崎市麻生区上麻生に所在しており、主に建築設計・監理業務を実施している。

今回表彰された作品は、麻生区千代ヶ丘にある一戸建ての住宅であり、内装材に木材や珪藻土を用いて人に優しい材料を採用し、天井材等には国産材を用いるなど、川崎市の施策である「誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備」及び「安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進」に向けた取組として評価できる。



有限会社 金子建設

本事務所は、平成２年に設立され、川崎市川崎区鋼管通に所在しており、主に建築物の設計・監理業務を実施している。

今回表彰された作品は、川崎区鋼管通にある倉庫・車庫併用共同住宅で、旧耐震の鉄骨造の建物を建て替えするとともに、道路側の１階部分を既存家屋よりセットバックすることで、近隣の歩行者空間への配慮や、圧迫感の低減をするなど、川崎市の施策である「まち全体の総合的な耐震化の推進」及び「地域の主体的な街並み形成の推進」に向けた取組として評価できる。



株式会社 大山組

本事務所は、昭和４０年に設立され、川崎市中原区丸子通に所在しており、主に建築物の建築意匠設計・監理業務を実施している。

今回表彰された作品は、中原区新丸子町にある共同住宅であり、外観において周辺との調和を意識した色彩を用いつつ、横ルーバー手すりやＲＣ手すりの組み合わせや、横ルーバー手すりの色をアルミ色とステンカラー色を混在させる等の外装表現の工夫を凝らすことで変化を持たせている。アプローチ壁に杉板実装型枠コンクリート仕上げの壁を採用することで、木目調によるナチュラルさを感じさせる意匠や外構の植栽による緑の創出を含めたファサードの工夫など、川崎市の施策である「地域の主体的な街並み形成の推進」に向けた取組として評価できる。

